

# 活動一覧 2009年-2010年

IPPFグローバル・インディケーター・データから得られた、IPPFの業績を示す2009年度の主要な事実と統計。

国際家族計画連盟 (IPPF) は、地球上に住むすべての人のためのセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツの提供者・推進者です。IPPFは、世界に広がる151の加盟協会のネットワークを駆使してコミュニティのために働く3万人以上のスタッフと何百万人ものボランティアに支えられています。

840 万  
CYP\*を提供し、  
480万の  
妊娠防止  
に貢献  
しました。

IPPF加盟協会は  
全世界で  
政策提言活動し、性と生殖に  
関する健康と権利について  
73件もの国家政策  
や法律の改善  
に成功しました。

**SPRINT スプリン  
ト・イニシアティブ**  
(人道的環境における性と生殖に関  
する健康へのアクセス)運動に  
38の加盟協会が参加し、  
68カ国の3900人以上の  
人道支援従事者  
を養成しました。彼らは人道的危機  
また緊急事態の際、SRH関連ニーズ  
にどう対応すべきかについて訓練を  
受けました。

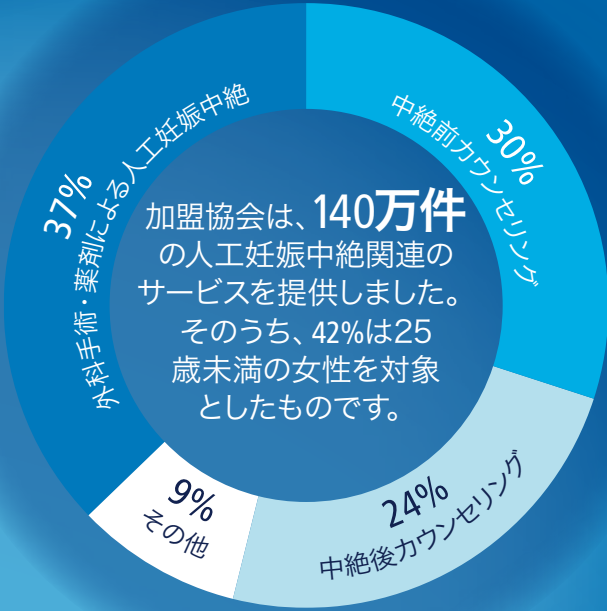


Photo: IPPF / Peter Caton

2009年は2005年に比べて160%  
増の性と生殖に関する健康関連サー  
ビス(避妊法を除いて)を提供しました。

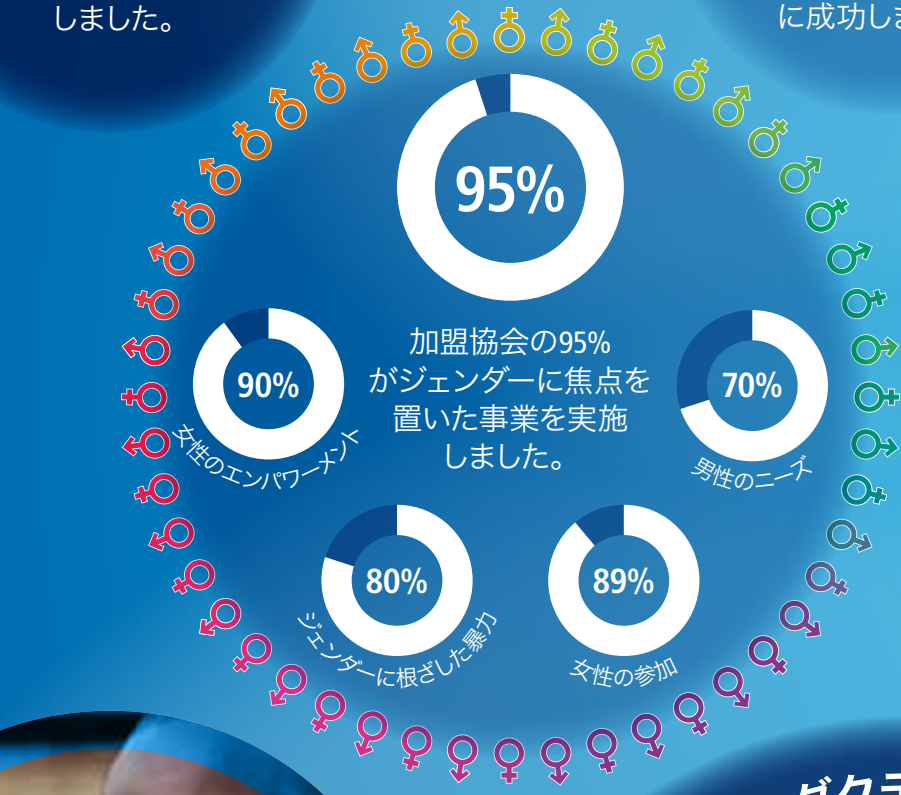
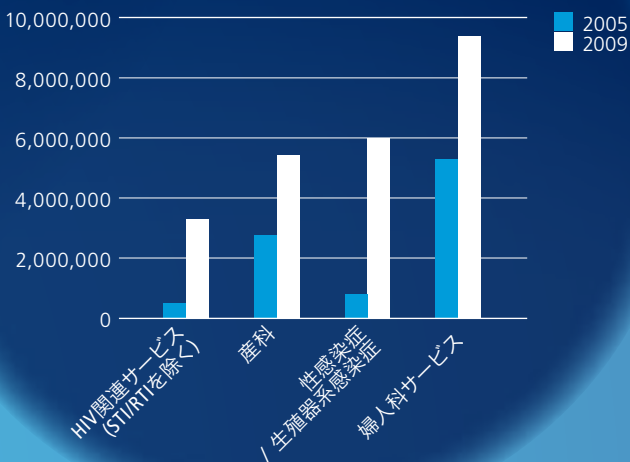


Photo: IPPF / Chloe Hall

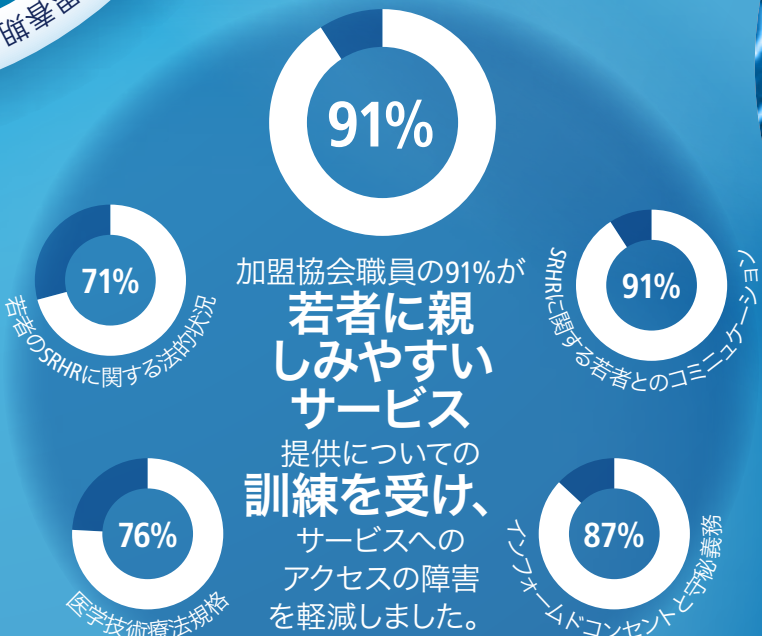


Photo: IPPF / Steve Saballa

IPPFの全サービスの  
うちの4割が若者  
を対象にして提供  
されました。



Photo: IPPF SAR / Arushi Singh

IPPFの性と生殖に関する健康 サービス利用者の  
10人に7人が社会の片隅  
に追いやられたり、社会  
から排除され、また  
/あるいはサービスを  
十分には受けられない  
人々でした。  
推定総数は、3300万人でした。

\*カップル年で示される避妊法の供給量(Couple-year of protection - CYP). ある避妊法の供給が何年分の避妊実行に相当するかを、年数の総計として示す尺度

# 活動一覽 2009年-2010年

IPPFは性と生殖に関する健康関連サービスの提供に加えて、女性・男性・若者の為の性と生殖に関する健康と権利を支持する国際的・地域的・国家的な政策提言運動の指導的役割を果たしています。下記の例は、性と生殖に関する健康と権利についての国家政策や法律を改善することによって、加盟協会の政策提言活動が何百万もの人々の生活にいかに顕著な変化をもたらしたかを示しています。

的を絞った政策提言運動「RMAプロジェクト」を通じ、加盟協会は5カ国（バングラデシュ・メキシコ・ニカラグア・タンザニア・ウガンダ）で国家レベルの家族計画供給向けに1,740万ドルの追加資金を調達しました。当プロジェクトは、既存の政府とNGOのクリニックが関連物資の供給不足により十分なサービスができないという、家族計画供給セキュリティに関する地球規模の危機に対応して立ち上げられたIPPFのプロジェクトです。

## ポルトガル家族計画協会(APF)

ポルトガルの加盟協会は、最近、性と生殖に関する健康の問題についてキャンペーンを行い、成功をおさめ、数々の政策また法律の改善に貢献しました。2009年、ポルトガル政府は新家族法を採用し、父親にさらなる権利を与える、また、女性性器切除について初めてのアクション・プランを承認しました。

## バハマ家族計画協会(BFPA)

バハマ家族計画協会は政府と積極的に協力を進め、配偶者によるレイプを含む性犯罪法に関する初の見直しを実施しました。

## チュニジア家族計画協会(ATSR)

チュニジア加盟協会は保健省と地域の関係省庁にロビー活動を働きかけ、若者に親しみやすい性と生殖に関する健康サービス・センターを同国の恵まれない6地域に開設することに成功しました。

## ガーナ家族計画協会(PPAG)

ガーナの加盟協会は国家必須医薬品委員会と協力し、男性用・女性用コンドームと緊急避妊薬・具を含む8種の新避妊薬・具を国家必須医薬品リストに承認記載するよう努めました。これにより、保健医療サービス提供機関は、国立医薬品店からこれらの新たな薬や物資を調達することが可能となり、サービス利用者にさらに広い選択肢のサービスを提供できるようになります。

## タンザニア家族計画協会(UMATI)

タンザニアの加盟協会は同国の政府に対し、家族計画と関連物資の供給に必要な国家資金割当を増加するよう働きかけました。その結果2010年度予算で465%の顕著な増加を見ることができました。

IPPFの総収入は、2005年から2009年にかけての過去5年間に、26,440万米ドルから35,860万米ドルへと36%増大しました。

91%  
IPPFがドナーから受ける支援金の91%が性と生殖に関する健康ニーズの高い国で活用されています。



「健康で、ハッピー、そして熱く」はHIVとともに生きる若者が自らの性の権利を理解し、健康に生活し、楽しくハッピーで、性的に満ち足りた生活を送ることを支援するための案内情報です。インターネットで掲載されてから、一日に何千回ものアクセスがあり、既存のIPPF出版物の中で最もダウンロードされる回数が多くなっています。

## ラトビア家族計画協会(LAFPSH)

ラトビアの加盟協会は、「HIVとAIDSに関する国家戦略」の策定に参加しました。

さらに同協会は2009年から女性のための子宮頸がんスクリーニング、2010年からは12歳の少女にヒト・パピローマ・ウイルス (HPV) 感染予防接種を政府資金で実施するよう運動しています。

## カザフスタン家族計画協会(KMPA)

カザフスタンの加盟協会は人工妊娠中絶法改正運動に成功を収めました。これにより、妊娠初期の中絶が、病院に加えて外来クリニックでも可能になったほか、中絶プロセスに手術前後のカounselingを含めることが義務づけられました。

## フィリピン家族計画協会(FPOP)

2009年、フィリピン政府は女性の権利、女性の権利の侵害とその刑罰を定めた法案を議会で可決させました。この法律のなかには、若い女性が妊娠したとしても退学・放校されるべきではないとの規定も含まれています。同加盟協会は法案公聴会に参加し、法改正のための支援を動員しました。

## フィジー家族計画協会(RFHAF)

フィジーの加盟協会はエイズに関する国家諮問委員会及び国家調整機構との関係を深め、ロビー活動をし、HIV予防・治療布告を実現させました。この布告は、差別やその他の不法行為、カounseling・守秘義務・検査と報告、血液と血液製剤の供給などの分野に及んでいます。

## ネパール家族計画協会(FPAN)

ネパール家族計画協会は、他の活動家と協力して、国内で問題になっている高率の家庭内暴力の低減のための政策を導入し、支援するよう国会議員や政策決定担当者に対して働きかけました。その結果、2009年には、家庭内暴力規制法が議会で承認されました。

